



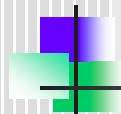
【2007年度XMLコンソーシアムDay】

## 2007年度 SOA部会 活動紹介

2007年12月6日(木)

SOA部会

日本アイ・ビー・エム(株) 日力俊彦



## SOA部会について



### ■ 背景

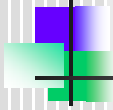
- 2004年度より、XMLコンソーシアムにて活動を開始
- 前身は、『テクノロジー部会WebサービスWG』

XMLコンソーシアム → 2001年4月から

### ■ 目的

- 抽象的なSOAの概念から具体的なビジネス面でのメリット、システム設計/実装の方針、Webサービスの有効活用方法等を導き出す
- 得られた知見や情報を外部に発信することで、**SOAやWebサービスの普及・発展に貢献**する

本年度のテーマは『体感！SOAによる設計&開発』



# SOAに対する理解



- SOAの考え方(コンセプト)は浸透してきた(かな・・・)
  - 現実的な構築手法は未だ確立されていない

例えば・・・SOA化する為には特別な開発プロセスが必要？

- サービス指向アーキテクチャーであるからには、  
"サービス"が重要(なんでしょ?)
  - どのようにして発見(抽出)/定義するか？
  - どのようにして実装するか？

例えば・・・サービスの設計/開発手法が解らない等

- SOAではビジネスモデリングも重要(なんだよね?)
  - ビジネス上の目標/課題に対するトレーサビリティ

例えば・・・サービスの目的が明確にならない等



# では・・・

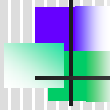


## 日本のSOAの現状についての理解はどうでしょうか...

- “何が出来て、何が出来ない”というSOA検証の時期はほぼ終わった...
- 出来ることからスタートしようという段階に入っている
- SOAは既に実装フェーズに入っている...

こう聞いて、皆様は、どうお感じになりますか？

- **Java**が誕生して、今年(2007年)で**12年目**.
  - 1995年 Sun World Expoで初めて登場.
  - Javaで開発されたブラウザ- “HotJava”
- **SOA**という言葉が世に誕生して、今年で**11年目**.
  - 1996年発行 Gartner社リサーチノート内で初めて使用された.
  - Service Oriented Architecture Part1 & Part2



## 来年へ向けての注目すべき技術/トレンド



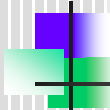
XML Consortium

- Top 10 Strategic Technologies
  - 米国Gartner社が発表(2007.10.9付)
    - <http://www.gartner.com/it/page.jsp?id=530109>

1. Green IT
2. Unified Communications
3. Business Process Modeling
4. Metadata Management
5. Virtualization 2.0
6. Mashup & Composite Apps
7. Web Platform & WOA
8. Computing Fabric
9. Real World Web
10. Social Software



■ 部会“主”注目技術/トレンド  
■ 部会“副”注目技術/トレンド

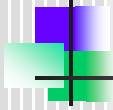


## 活動内容(1/3)



XML Consortium

- 活動内容
  - 要素技術に関する調査・研究
  - 設計及び開発におけるプロセス/手法に関する調査・研究
  - 事例に関する調査・研究
  - 他部会とのインターロック(適宜実施)
  - 具体的には・・・
    - サービスの記述、発見、合成、実装に関する規格・技術の調査
    - SOAによるプロセス統合、B2B、EC等の実現事例の収集と分析
    - SOAやWebサービス関連ツールや開発環境、実行環境の調査
    - SOAの意義の認知や普及のための情報の発信
    - SOA実現に必要なノウハウ、アーキテクチャー・パターン、デザインパターンの収集と蓄積
    - ビジネスモデルの定義からWebサービスによる実装に至るSOA適用シナリオの作成
    - AJAXやリッチクライアント等の技術のトレンドとSOAとの関連の調査



## 活動内容 (2 / 3)



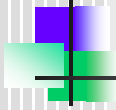
- 2007年度重点施策
  - 2006年度の施策の継続
  - SaaSとSOAの関連を紐解き、SaaSビジネスにおけるSOAとの関連 / SOAの適用効果についても検討を行う
  - 実経験(ハンズオン)を通じてSOAを体感する
- (参考)
  - 2006年度重点施策は・・・
    - SOAの具体的なイメージを開発者 / ユーザーに提示
    - SOAの開発ツールや実行環境が整備されてきた状況に鑑み、SOA開発プロセス(の一部)を実践し、部会での議論を深化する



## 活動内容 (3 / 3)



- 2006年度は、以下のWGの立ち上げ、活動実施
  - SOAガイド作成WG
    - SOAの捉え方に一定の尺度を！ ➡ セッション#2 SOA導入進捗度モデル
  - BPEL研究WG
    - “サービス”を構成部品とするフロー・テクノロジーに実際に触れてみよう！
  - サービス設計BP WG
    - “サービス”ってどうやって見つけるのか、やってみよう！
    - ➡ セッション#3 サービス設計のBP
  - SOAパターンの図的表現WG
    - SOAにおけるNFRはどうすれば可視化できるか、やってみよう！
    - ➡ セッション#4 サービス連携における非機能要件設計上の考慮点
  - Webサービス / リッチクライアント技術動向 / 適用検討WG
    - サーバー・サイド技術の進化にクライアントはどうついていくのか、追っかけてみよう！
    - ➡ セッション#5 SOA環境におけるクライアントシステムの検討



## 活動方法 (1/2)



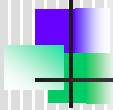
- 月例ミーティングでの**F2F**のディスカッション
  - 2006年度実績: 毎月1回 / 第3木曜日
- ビジネス・イノベーション研究部会とのコラボレーション (ミーティングの同日開催、メンバー交流)
- メールングリストによる日々の情報交換、ディスカッション
- 参加メンバー個人による個別テーマや事例の調査
- Webページ、雑誌記事、出版等外部向けコンテンツの作成
  - 2006年度実績
    - 雑誌記事: 技術評論社刊 エンジニアマインド Vol.1 特集記事
    - 外部講演: Modeling Forum 2006
  - 他
- XMLコンソーシアム他部会等との協調による技術の普及推進
- XMLコンソーシアムDay、XMLコンソーシアムWeekでの活動報告



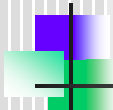
## 活動方法 (2/2)



- 対象者
  - SOAやWebサービスによるITシステムの実現 / ビジネス応用について興味をお持ちの方
  - プログラミング・スキルは不要
  - 必要に応じて、入門者向けセッションを実施
    - 部会内外より、エキスパートを招聘
- 会員メリット
  - SOA関連情報、ノウハウの獲得
  - 参加メンバーによる情報交換、人的ネットワークの確立



## 2007年度 WG紹介



## SOAサービス設計WG

- WG名：『SOAサービス設計』
  - リーダー：何翁径迪 <(株)アイ・ティ・フロンティア>
  - サブリーダー：日力俊彦 <日本IBM(株)>
  - WGメンバー
    - 加藤昌宏 <住友セメントシステム開発(株)>
    - 柴田昌宏 <日本電気(株)>
    - 村松直樹 <(株)バルキー・インフォ・テック>
    - 随時、メンバー募集中！
- 活動方針
  - 既存SOA技術とEmergingな技術/コンセプトとの関連を紐解きながら、SOAにおける現実的なサービス設計の手法を、可能な限り具体的に提示する。
- 活動内容
  - 以下の内容をカバー
    - サービス設計のBest Practice (2006年度活動の継続)
      - 既存/新規の技術/コンセプトの関連、俯瞰を含む。
    - サービス粒度に関するガイドラインの策定
    - SOAガバナンス
      - サービス分析/設計時のガバナンス項目
- 成果物(案)
  - SOA技術鳥瞰図
  - SOAサービス設計ガイド w/ ガバナンス



# SaaS調査研究WG



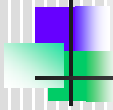
- WG名：『SaaS調査研究』
  - リーダー：牧野友紀<日本ユニシス(株)>
  - サブリーダー：坂下秀彦<(株)JIEC>
  - WGメンバー
    - 芦田尚人<(株)プレイネットワークス>
    - 日力俊彦<日本IBM(株)>
- 活動方針
  - SaaSはビジネス全般に波及するモデルになるのでしょうか？うまく離陸しなかったASPとは何が違うのか？アウトソーシングの課題を解決する技術的なサブスタンス、ビジネス成立の要点を調査する。
- 活動内容
  - 以下の内容をカバー
    - What is SaaS? : SaaSの定義、SOA、Webサービスとの関係
    - ビジネス的な課題と解決技術
      - ユーザー・カスタマイズ要求に対する技術戦略は？
      - 企業内システムとSaaSの連携、SaaS間の連携は？
    - プライシング・モデル
      - コスト・値立ての根拠
- 成果物(案)
  - SaaS調査研究報告書



# SOAクライアントWG



- WG名：『SOAクライアント』
  - リーダー：小林茂<日本ユニシス(株)>
  - サブリーダー：神田晴喜<都築電気(株)>
  - WGメンバー
    - 随時、メンバー募集中！
- 活動方針
  - 既存SOA環境におけるクライアントの姿を調査し、SOA環境におけるより有益なクライアントの在り方を探る。
- 活動内容
  - 裏付ける技術の動向などを把握する
  - どんな環境が提供されると良いのかを探る
  - それによって期待できることを提示する
- 成果物(案)
  - SOA環境下のクライアント技術俯瞰
  - SOA環境下のクライアント利用形態と期待される効果



# SOA標準技術調査WG



XML Consortium

- WG名：『SOA標準技術調査』
  - リーダー：尾々野正和 <日立ソフトウェアエンジニアリング(株)>
  - サブリーダー：(調整中)
  - WGメンバー
    - 明庭聡 <日揮情報ソフトウェア(株)>
    - 横田治樹 <NECソフト(株)>
    - 随時、メンバー募集中！
- 活動方針
  - SOAではプロセスの標準仕様としてBPELがありますが、人間系のワークフローが記述できないなどの課題があり、BPEL4Peopleのような補完仕様や、XPDLのような対抗仕様が出てきています。本WGでは、これらの実務における使い分けについて検討します。
- 活動内容
  - SOA部会で行うプロセス分析・設計ハンズオンの結果も参考に、BPMN、XPDL、BPEL、BPEL4Peopleといったプロセス系標準仕様の使い分けや、設計時の注意点について検討する。
  - その他、SOA関連技術・標準仕様について調査し、まとめる。
- 成果物(案)
  - BPEL設計リファレンス
  - SOA用語集 / SOA技術・標準仕様成熟度マップ



# SOA普及の障壁WG



XML Consortium

- WG名：『SOA普及の障壁』
  - リーダー：林口英治 <日本IBM(株)>
  - サブリーダー：横田治樹 <NECソフト(株)>
  - WGメンバー
    - メンバー募集中！
- 活動方針
  - SOAの普及は世間のメディアが報じるほど実態は進んでいない。その原因は何なのかを明らかにし、普及に向けた障壁解消の提言としたい。具体的には、普及障害を仮説設定しなるべく多くに人のアンケート調査で検証したい。
- 活動内容
  - 以下の内容をカバー
    - SOA普及障害原因に対する仮説設定
      - ビジネス上の障害仮説
      - システム上の障害仮説
    - 障害仮説検証の調査シート作成
    - 調査実施
    - 障害分析と障害解消方向性検討
- 成果物(案)
  - SOA普及障害原因調査シート
  - SOA普及障害分析・障害解決策案





## 最後に・・・



- 是非ご一読下さい。



当部会メンバーも寄稿しています。

**『SOA研究 vol.1』**  
(株式会社リックテレコム刊)

部会活動への皆様のご参加をお待ちしております！  
“Door is open for everyone”